

このスピーカーを作ったきっかけは、もっと簡単に使うことを前提とした卓上スピーカーになります。  
難しい計算や特性など全て無視し小さく軽く使い勝手よい箱にしました。材料に桐を使っています。  
元々はステレオ誌付録号にありましたが、正規品なのが気になり購入したのがキッカケです。ユニット高かったな。。。  
このスピーカーの大きな特徴は特に有りませんが、重い半導体アンプとの相性が良くボリュームも美味しい位置で使えるぐらいで、4.5畳だと鳴りっぷりとても気持ちが良い、卓上としては十分に満足する出来です。  
もちろん大音量は不向きですが、通常に使うのなら問題ありません。意外と結構いい音量が出て驚きです。  
製作使用者として目の前でリスニングする事を目的としたスピーカーで、目の前だと音量も稼げて音の定位置も良好なのと、小口径と思えない豊かな量感です。価格帯では高級😁  
さらに様々なユニットが有る中、知恵を凝らし作る箱も複雑化してしまいます。  
その辺りは音楽を聴くことが難しくなってしまいますが、作ったスピーカーで聴くソフトは、ご褒美になり  
またの機会に新しい音に出会おうと思うのです。これは作る人じゃないと分からない自作の醍醐味です。  
細かな部品も変えるのも同じ事。良い音で高音質と言うのは、音の表現として正解が無いのがムズカシイ…  
私も色々作っていますが、自作は非常に労力使うので作るのも大変です。しかし作例を残す事は重要と思います。  
終わりに簡単なレポートになりましたが、今回Twitter.カノンD氏の祭りを知り初参加となりました。  
会場は広く耳の肥えた方々多いと存じます。小口径の振幅には限界がありますが、是非目と鼻の先で聴いて頂けると幸いです。

短いレポートになりますが、この小さなスピーカーを試聴をされる皆様どうぞよろしくお願い致します。  
北海道で何かしらやっている、サウンドスローライフ..終焉の音..